

平成21年
3月号

学校・地域・家庭を結ぶ情報誌 **Hannan Heart**

school region home
http://www.hannan-heart.net

阪南小学校区教育協議会
—はぐくみネット—
広 報
発行 はぐくみネット広報部会

ちょっと一言

100年に一度!?

「100年に一度」という言葉を耳にします。普段でも明るい報道が少ない時代なのに、連日のように「お先真っ暗」な話題ばかりをメディアは取りあげています。このような社会の閉塞感が、子どもたちの心や態度に影響をおとさないか心配です。「ものごとを考えようだ」「明けぬ夜はない」など、苦境に陥ったと

きに、我々は発想を変えたり、気持ちを持ち替えたりして、乗り越えてきました。今の状況も、未来の人類のためには、地球環境の改善のきっかけとなる時代の区切りなのかも知れません。この100年間には、戦争をはじめ、多くの困難があり、また繁栄もありました。「100年に一度」なのは困難の内容でなく、スピード



なのでしよう。その分、夜明けまでの時間も短いと信じて、今こそ、子どもを育み、導く役割を担う我々大人は、笑顔で、未来に希望を持って、子どもたちに接していきたいと思えます。

第3回協議会開催!

3月5日(木)、平成20年度最後のはぐくみネット教育協議会が阪南小学校多目的室で開かれました。小学校から今年度の学校の努力目標に対する最終結果や、次年度に向けての話が出ました。

…2008年度のはぐくみネット実践発表会…

阪南小学校がアンケートについて発表



実践発表者
桂正孝先生(宝塚造形芸術大学教授・大阪市立大学名誉教授)
育コミュニティの役割について

平成20年度「小学校区教育協議会—はぐくみネット—」事業実践発表会が、2月28日北区民センターを会場として催されました。はぐくみネット事業の成果を確認し、課題の解決や今後の取り組みについて考える機会にすることを目的として行なわれています。

小学校、西九条小学校、阪南小学校の順に実践発表が行なわれました。阪南小学校区はぐくみネットは、田澤利明委員長が、阪南ふれあいカーニバルのはぐくみネットのブースで展示したアンケート結果を元に『しつけは誰がすべきもの?—学校・家庭・地域で取り組んだ、はぐくみネットアンケートが見えたもの—』と題した発表をしました。講評では、桂先生との意見交換で、的を得たアンケート質問内容であり、目的をもってアンケートをしている点などで評価をいただきました。会場での質疑応答では、取り組みに興味をもたれた方も多くおられ、関心度の高さを知ることができた実践発表会でした。

今年もおいしくてたのしくて...
平成21年2月8日(日)、阪南小学校の校庭において、PTA、地域ネットワーク委員会、はぐくみネットの共催で、おもちつき大会とぜんざい会が行われました。2月とは思えないほどの暖かさの中、そして今年度の行事としては珍しく晴天のもとで、用意された4斗(約42kg)のもち米が、2時間弱の間に、きな粉、さとう醤油、大根おろし、ほん酢の3種類の味付けのお餅で約800食、おぜんざいで約500



皆様方のお陰で、無事に楽しく行うことができました。厚く御礼申し上げます。

食として、あつという間に子どもからお年寄りの方々まで全員のお腹に収まりました。お袋いっぱいになった子ども達は、グラウンドで楽しく遊び、大人達はおしゃべりに熱中し、世代を越えて親交を深め、参加者全員が楽しい時間を過ごしていました。前日からの準備を含め、協力していただいた教職員、青少年指導員、青少年福祉委員、子ども会、地域の